

# 使用文字種

一般的なパーソナルコンピュータやワークステーションでデータ作成を可能とするため、それらで通常入力できる文字種のみを使用対象文字としています。

具体的には、1byte カナを除いた JIS X 0201(いわゆる ASCII 文字)と、JIS X 0208(いわゆる第一水準漢字と第二水準漢字)を使用対象文字としています。

入力が可能でも、JIS X 0212(いわゆる補助漢字)と、JIS X 0213(いわゆる第三水準漢字と第四水準漢字)、JIS X 0221-1(いわゆる UCS)は使用対象文字としません。

データは原則として、記事の記載どおりに記述しますが、文字の書体(イタリック、ボールド、活字体、筆記体等)の違いは無視して記述します。また、文字列に付けられた下線も無視して記述します。

## 1. 日本語

日本語(漢字、かな、カナ)は、2bytes(いわゆる全角)を使用して記述します。

カナの 1byte 文字(いわゆる半角カタカナ)は使用してはいけません。

1byte にも 2bytes にも両方含まれる以下の記号は、2bytes の文字を使用します。

それ以外の記号は、1byte で記述します。

文 字	名 称	JIS コード
。	句点	A1
「	始めかぎ括弧	A2
」	終わりかぎ括弧	A3
、	読点	A4
・	中点	A5
ー	長音記号	B0
ゝ	濁点	DE
゜	半濁点	DF

旧字・異体字は、JIS 第一水準、第二水準内の文字であれば、情報源に記載のとおり記述します。もしなければ新字に置き換えて入力します。

置き換えられない文字は、「[ ](角かっこ)」でそのカナヨミを括って記述します。

例) 國學院大學 → 國學院大學

高橋 (梯子高) → 高橋

古代社会における姦 → 古代社会における[ウネメ]

## 2. 中国語, 韓国・朝鮮語

中国語, 韓国語, 朝鮮語で記述された部分は, 以下のいずれかの方法で記述してください。

- ① 中国語の簡体字は, JIS 第一水準, 第二水準内の文字に置き換えて記述
- ② 漢字形あるいは日本語形への翻訳形で記述
- ③ 欧文形への標準的な翻字法に従った翻字法で記述

論文名に対する日本語よみや, ローマ字による翻字(ピンイン等)を記述する場合は, 「論文名よみ」項目に記述します。ローマ字翻字を日本語よみに併記する場合は, 日本語よみの後ろに「(丸かっこ)」で括って記述します。

## 3. 日本語以外の言語

英字と数字, 記号は, 原則として 1byte(いわゆる半角)を使用で記述します。  
行末の継続を意味する「-(ハイフン)」(いわゆるハイフネーション)は適用しません。  
ウムラウト, アクサンなどの欧文の音標符号は無視して記述します。

例) *Phänomenologie* → *Phänomnologie*

## 4. ローマ字以外の欧文(キリル文字・ギリシャ文字)

キリル文字(ロシア文字), ギリシャ文字は, JIS 規格にある文字です。従って, 2bytes で記事の記載どおりに記述します。ただし, ドイツ語のエスツェットは「SS」に置き換えて記述します。

例) Βατραχοί of Aristophanes

## 5. 特殊な合成文字, 記号

次に掲げる記号類は, 入力ができるものの, JIS 外文字になりますので, 置き換えて記述します。いわゆる機種依存文字に当たるものが該当します。

- ① ローマ数字は, アルファベットの I, V, X を使用して記述します。

例) II → Ⅱ, VIII → Ⅷ, xii → Ⅻ

- ② ○つき文字は, 「0(丸かっこ)」で中の文字を括って記述します。

例) ① → (1), ㊤ → (上)

- ③ カッコ「( )」つきの 2bytes1 文字は, 「0(丸かっこ)」で中の文字を括って記述します。

結果的に 3 文字になります。

例) (5) → (5), (株) → (株)

④ 数式などに含まれる，上付文字や合成文字は，次のように置き換えて記述します。

1. 上付文字	$X^n$	→	$X^n$
2. 下付文字	$X_n$	→	$X_n$
3. 上下付文字	$X_m^n$	→	$X^n_m$
4. 上文字	$\overset{n}{X}$	→	$X^{^n}$
5. 下文字	$\underset{n}{X}$	→	$X_{_n}$
6. 上下文字	$\overset{n}{\underset{m}{X}}$	→	$X^{^n}_m$
7. 2文字以上にまたがる上文字	$\overline{XY}$	→	$\langle XY \rangle^{^^}$
8. 2文字以上にまたがる下文字	$\underline{XY}$	→	$\langle XY \rangle_{\_}$
9. 分数	$\frac{n}{m}$	→	$n/m$
10. 平方根	$\sqrt{X}$	→	$\sqrt{\langle X \rangle}$
11. 3乗根	$\sqrt[3]{X}$	→	$\sqrt{^3\langle X \rangle}$
12. 合成文字	㊦	→	[○!秘]

### ⑤ 1byte カナ定義

1byte カナは，JIS X 0201 で定義される， $\text{¥xA1-¥xDF}$  の文字とします。具体的には以下の文字です。

。「」、・ヲアイウエオヤユヨツーアイウエオカキクケコサシスセソ  
 タチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワランゝ。

## 6. 使用禁止文字

以下の文字を，使用禁止文字とします。記述した場合はエラーになります。

・シフト JIS コード $\text{¥x00A1-¥x00DF}$ ， $\text{¥x8740-¥x879C}$  の範囲の文字。

日本語 EUC では $\text{¥x8EA1-¥x8EDF}$ ， $\text{¥xADA1-¥xADFC}$  の範囲で，いわゆる半角カナ，丸付き数字，ローマ数字，特殊記号等などの機種依存文字を指します。

「特殊な合成文字，記号」で置き換え記述をする対象文字です。

・3 バイト日本語 EUC に該当する文字。JIS X 0212 で定義されている文字を指します。